

# 郡上農林事務所の普及活動状況

令和2年5月25日現在

## 今月の重点活動

### ■スマート農業 タブレットを使って新たな普及活動を展開

農業普及課では、5月からタブレットを導入し、JAめぐみのが運営する郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会のLINEグループ（若手部会員中心の17名）に参加することとなった。

タブレットを利用することで、農家から苗の状況について画像付きデータで問い合わせを受け、すぐに普及指導員が対応策を返答するだけでなく、これらの情報をグループで共有することで若手全体の技術向上にも繋がる。

さらに、タブレットによる指導結果をデータベース化して活用することで、普及活動の効果と効率を高めることができる。

農業普及課では、部会内での情報共有のルールも含め、安全で効率的な利用方法を関係機関とともに検討し、農家の技術向上とともに、普及活動の高度化に取り組む。



【LINEでのやり取り】

## 多様な担い手づくり

### ■新規就農 農業次世代人材投資資金（準備型）の研修状況を確認

JAめぐみのが運営する「郡上トマトの学校」の研修生が、農業次世代人材投資資金（準備型）の交付を受けていることから、5月21日に農畜産公社とともに研修状況を確認した。

農業普及課では、JAめぐみのの担当とともに普段から研修生へ指導を行っているが、この日は改めて、公社担当者の立会のもとで経営や技術の理解度を確認した。

結果、適正に研修に取り組んでいるが就農に際して不安な面もあり、今回確認した内容を参考に経営者として自立できるよう、関係機関と連携して支援を進める。

## 売れるブランドづくり

### ■花き 総合郡上総合庁舎にてフラワーフライデーを実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込みつつある県産花きの需要を促進するため、郡上総合庁舎にて農業普及課の支援による花き販売を実施した。

今回は、郡上花き園芸組合の協力で、市内の花き農家が生産するフランネルフラワーとアツツ桜の2品目となった。販売は、ウイルス感染のリスクを回避するため、事前にカタログで注文を受け、後日個別に手渡とした。

農家からは「花が売れずに大変困っている。一鉢でも買ってもらえるとうれしい。」との声があり、農業普及課では技術指導だけでなく、今後も地元花きの需要促進に向け様々な支援を行う。



【フランネルフラワー（左）  
とアツツ桜（右）】

### ■大麦 高品質、安定生産を目指して

郡上市では、水田で大麦を栽培しているが、試験栽培中の「ファイバースノウ」が収穫期を向えたことから、5月21日にJAめぐみのの担当者とともに穀粒水分など成熟調査を行った。

農業普及課では、結果を元に刈取適期を農家へ指導し、収穫後には品質分析を行って、品種特性を把握、有望度を判断する。



【ほ場での成熟調査】